

剣道が生んだ友情

～ 25年以上の時を超えて～

在マラウイ日本国大使館

マラウイと剣道の出会いは、一人の JOCV 隊員と一人のマラウイ人少年の出会いに始まります。

その少年の名は、オースティン・ソンバさん (Mr. Austinie Somba)。1992 年、ソンバさんがまだ 13, 14 歳だったころ、栄養士として病院で活動していた中川 JOCV 隊員が昼休みに素振りをしている姿を見つけ、剣道に興味を持ち、中川さんに頼み込んで本格的に剣道を教わるようになりました。防具がなかった初めの頃はモップの柄を使い練習していたそうです。

その後、中川隊員がマラウイを離れた後も、不定期ではありましたが、剣道経験の有無にかかわらず多くの JOCV が、練習や剣道協会の組織化・運営を支援しました。ソンバさんは、防具の不足等様々な課題を抱えながらも、剣道協会としてブランタイヤにて、剣道の振興を続けてきました。

2013 年、ソンバさんが代表を務めるマラウイ剣道協会は、20 年間にわたるマラウイでの剣道普及活動の功績が称えられ、外務大臣表彰を受賞しました。

ソンバさんは、外務大臣表彰の受賞にあたり、「剣道はマラウイでは、まだまだ少数派のスポーツです。20 年間活動を続けてきましたが、誰にも特別褒められたことはありませんでした。そんな中、日本政府が、私たちの活動を認め、二国間の文化交流に貢献していると讃えたことは、私たちにとって大きな励みとなり、これからも活動を継続していくモチベーションとなりました」と述べました。

2016 年、中川さんとソンバさんの長年にわたる友情がまた一つの形となります。中川さんの呼びかけで、67 名から 47 万 8 千円の募金が集まり、日本で剣道の稽古を行うというソンバさんの小さな頃からの夢がついに叶いました。

3 つの稽古場で稽古に参加した他、全日本剣道連盟主催の外国人剣道指導者夏期講習会に参加し、剣道四段を取得することができました。

ソンバさんは、「最初は剣道で思い浮かぶのは映画で見た忍者の姿だけでしたが、剣道は身体的な強さだけではなく、生活への教えが含まれていると学びました。特に、自己鍛錬 (discipline) が大きな要素だと考えています。剣道だけではなく何事も真剣に取り組む精神力を鍛える、精神修行とも言えるスポーツであり、その心をマラウイの若者に剣道を通じて教えていきたいです」と述べました。

ソンバさんを突き動かす剣道への熱い思いが、日本とマラウイの架け橋となっています。

在マラウイ日本国大使館は剣道協会の活動を支援しており、2018年には第5回目となる日本大使杯剣道選手権大会を開催しました。



第5回日本大使杯剣道選手権大会

(関連情報)

【在マラウイ日本国大使館 HP】

① ソンバ氏へのインタビュー記事

https://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/jtm_austinsomba_jp.htm

② 平成 25 年度外務大臣表彰授与式報告記事

<https://www.mw.emb->

[japan.go.jp/JapaneseSite/kendo%20association_jp.html](https://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/kendo%20association_jp.html)

【在マラウイ日本国大使館フェイスブック】

① 第5回日本大使杯剣道選手権大会報告記事

<https://www.facebook.com/1404590083152797/posts/2230123247266139/>